

冠心II号方と「冠元顆粒」

さて冠心II号方かんしんごうほうの処方とはいったいどのような処方かと申しますと、丹参たんじん、川芎せんきゅう、赤芍せきしやく、红花こうか、降香こうこうといった五種類の生薬が配合されています。

いずれも活血化瘀かっけつかわを促す漢方生薬です。活血化瘀とは、中国の伝統的な病の治し方で、活血とは血液の質を改善し流れを良くすることです。化瘀とは血液の汚れや濁りを取り除いてきれいにすることをいいます。丹参たんじんは日本には自生しないシソ科

タンジンの根でサルビアの一種です。地中海地方では、セージと呼ぶ香料として料理に使われています。丹参たんじんは末梢血管を拡張し血圧を下げる作用と瘀血おけつによる痛みを取り除きます。

川芎せんきゅうはセリ科植物センキウウの根茎で薬効は血栓を作りにくくして血液循環を促します。

赤芍せきしやくはキンポウゲ科シヤクヤクの根を乾燥させたもので心臓の冠状動脈を拡張すると同時に、心臓の平滑

筋の痙攣を抑え鎮痛効果があります。

红花こうかはキク科ベニバナの花冠で冠状動脈を拡張する作用があります。

そして降香こうこうはミカン科コウコウの木部を乾燥させた生薬で、精神安定作用があります。

つまり狭心症や心筋梗塞の発作を引き起こすストレスの解消に役立ちます。

これら五種類の生薬が一体となつて相乗効果を出し合い、血行を改善し心臓の血流障害によつて痛みを発生するような状態を改善します。

この冠心II号方かんしんごうほうを大衆向けにさら

に改良したのが「冠元顆粒かんげんかりゅう」です。「冠元顆粒かんげんかりゅう」は冠心II号方かんしんごうほうから降香こうこうをはずし、代わりに精神的ストレスにも効く木香もっこうと香附子かうふしを加えたものです。



丹参
丹